平成29年 奈良市観光入込客数について ~【参考値】観光消費額の変更について~

- 平成29年の奈良市観光入込客数調査報告は、平成30年7月24日に公表したところですが、参考値としている観光消費額については、「観光入込客に関する共通基準」に基づき奈良県が実施・公表しているデータの公表時期が異なることから、前年(平成28年)の観光消費額単価を使用して推計しておりました。
- この度、奈良県の平成29年データが既に公表されていることに伴い、奈良市観光入込客数調査報告書中の観光消費額を変更することとしました。
- また、JNTO (日本政府観光局) から2017国際会議統計が公表されたことに伴い、奈良市の平成29年国際会議件数を追加しました。

<変更点>

(観光消費額)

• 平成29年の奈良県における観光消費額単価は、宿泊客が24,484円、日帰り客が4,731円となります。これを奈良市の観光入込客数に乗じて、奈良市内の観光消費額を推計すると、約1,129 億円となり、前年の約1,036億円から約93億円増となります。

(国際会議件数)

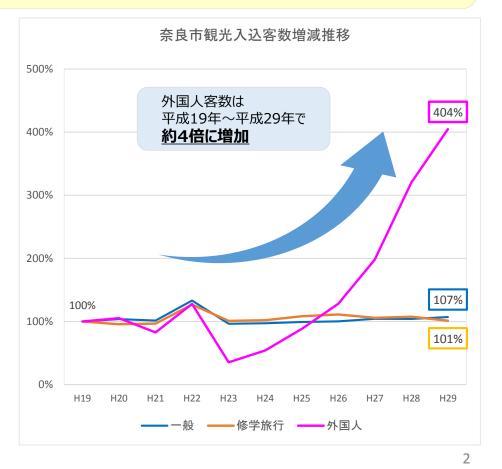
• 平成29年の奈良市の国際会議件数は29件(前年比10件減)でした。

平成29年 奈良市観光入込客数

- 平成29年に奈良市を訪れた観光客は、1,631.4万人と、前年(1554.3万人)に比べて77.1万人(5%)増加。
- 宿泊客数は180.6万人と、前年(158.2万人)に比べて22.4万人(14.2%)増加。
- ● 平成29年に奈良市を訪れた訪日外国人客数は199万人で、前年(157.6万人)に比べて41.4

 万人(26.3%)増加。平成19年から平成29年までの10年間で、約4倍に増加している。





平成29年 国籍・地域別訪日外国人客の観光案内所案内件数

▶ 平成29年奈良市の観光案内所での案内件数※は約17.8万人。国籍・地域別割合は、中国 が最も高く、全体の25.0%を占めている。また、全国の訪日外客数の国籍・地域別割合と比較 すると、韓国の割合が低く(5.2%)、<u>フランス(5.5%)やスペイン(4.8%)の割合が高いのが</u> 特徴。

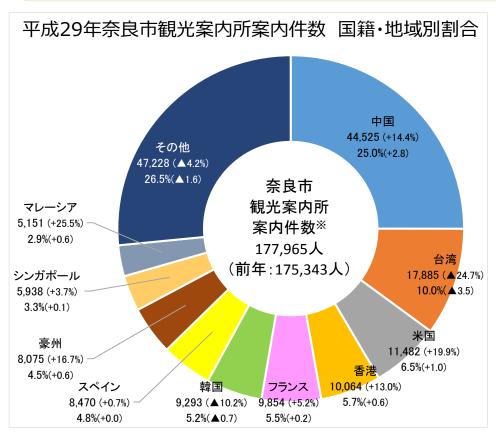
【参考】平成29年訪日外客数 国籍・地域別割合

その他

3,274,439 11.4%

シンガポール

404.132 1.4%



中国 7,355,818 豪州 495.054 1.7% タイ 987,211 平成29年 3.4% 訪日外客数 28,691,073人 米国 1,374,964 香港 2,231,568 4.8% 7.8% 韓国 7.140.165 24.9% 台湾 4,564,053 ※奈良市総合観光案内所と近鉄奈良駅観光案内所での案内件数合算値 出典:日本政府観光局(JNTO)

フィリピン

424.121 1.5%

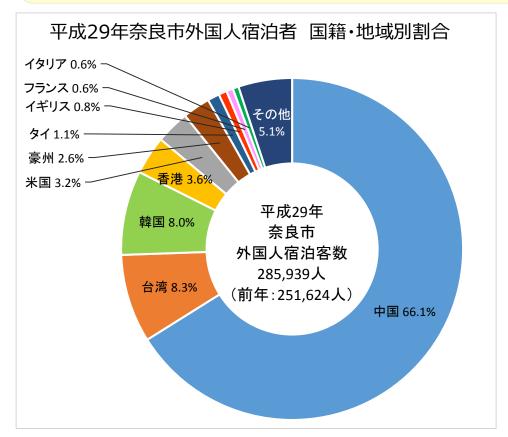
マレーシア

439.548 1.5%

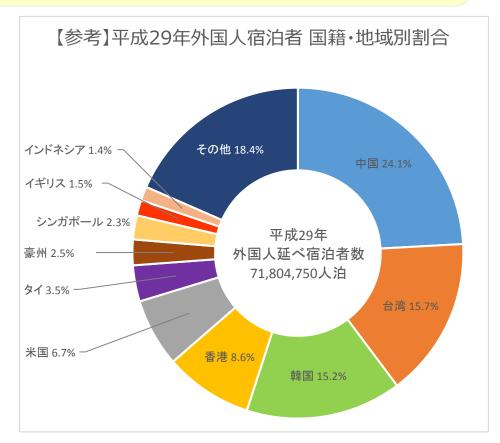
奈良市観光センターはH29.6にNARANICLEにリニューアルされたため、 本データには含まれていない。

平成29年【参考】国籍・地域別訪日外国人客の宿泊者数

- <u>平成29年に奈良市に宿泊した訪日外国人観光客は、28.6万人で、前年(25.2万人)に比</u> べて13.5%増。
- <u>奈良市の外国人宿泊客数の国籍・地域別の割合は、中国が66.1%で最も高く、</u>次いで台湾、 韓国、香港、米国の順。<u>全国の外国人延べ宿泊者数の割合と比較すると、</u>奈良市は中国の割 合が高い他、東南アジアの割合が低く、豪州や欧州の割合がやや高いのが特徴。



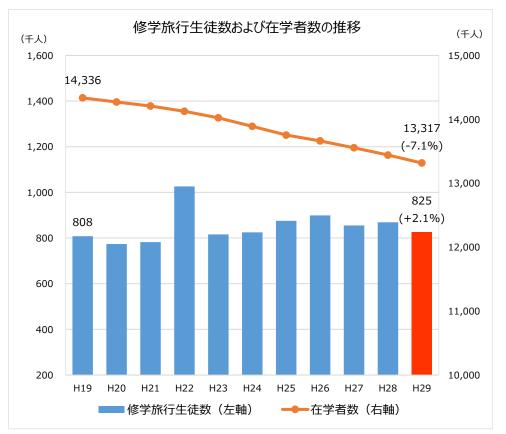
観光庁「宿泊旅行統計調査」より、従業者数10人以上の宿泊施設を 対象とした調査結果をもとに奈良市推計



出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」

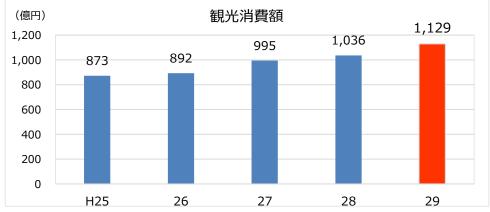
平成29年 修学旅行生徒数 / 【参考】平成29年観光消費額および国際会議開催件数

- 修学旅行生徒数は82.5万人と、前年に比べて 5.1%の減少。
- 過去10年の推移を見ると、ほぼ横ばいで推移。
- 全国の在学者数が毎年約10万人減少する中、 誘客のため、更なる対応が必要。



在学者数:文部科学省「学校基本調査」 ()内は、H19年値と比較した増減率を示す。

- ● 奈良市内の観光消費額は約1,129億円で、前 年に比べて約93億円の増加。公表を開始した平 成25年以降、最高値を更新。
- 平成29年に奈良市内で開催された国際会議は29件。





出典: JNTO:国際会議統計